

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～21.5℃台を示し、平年並み～かなり高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシが1日1統当たり0.7トンの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり6トンの水揚げ（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり14kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり315kgの水揚げで前週の3.7倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり31kgの水揚げで、前週の66%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり523kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり2kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり670kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり2.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、サバなどが1日1統当たり494kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヤズなどが1日1統当たり273kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり66kgの水揚げで、前週の52%（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり11kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げ（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日1統当たり50kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/14～12/19日）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆周辺から太平洋赤イカへシフト船有り。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁。

鳥取県西部（沖合船）1日延2隻入港、総計51箱、1航海最高28箱、平均25.5箱、スルメを中心に、魚体は40入り主体。今期は山口沖～浜田沖で漁場が形成、各海区ともにスルメ・ケンサキイカの混獲。

（漁業情報サービスセンターより）